

2023年度

事業計画書

特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構

1 事業実施の方針

初年度は当法人の知名度を上げるため、文化財活用イベントとして文化財を管理する自治体の担当部署や民間事業者向けに発掘調査現場に役立つ講習会を実施する。講習会時に文化財の保管サービスの紹介を行うことで、サービスを周知していく。

「文化財の整理保管サービス事業」については、成約できるような営業活動と並行し契約者が魅力を感じる整理保管サービスとなるようなシステムの開発を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 169 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
文化財の整理保管サービス事業	(1) 文化財の整理保管サービス (サービスの流れ) 1. 文化財の保管場所に苦慮している自治体や民間企業から、依頼を受け発掘後の文化財や調査報告書を預かる 2. 文化財を整理保管 3. 自治体が一般向けに現地説明会などを開催する際に、必要な場所に必要文化財だけを送付 4. 現地説明会終了後返送 5. 返送された文化財を整理保管 (2) 上記1. から5. を行う整理保管システム開発に関する調査	通年	都内にある倉庫で30～50坪程度、駐車場があり荷取ができるスペースを確保できる場所を検討中	4人	文化財を保管管理する自治体の担当部署、民間事業者	全国で約1200自治体、約150民間事業者	49
文化財活用のイベント等の企画、開催及び支援事業	(1) 文化財イベントの開催を検討している自治体向け 文化財イベントの開催を検討している自治体向けにイベントの支援を行う。開催場所、時間の設定、PR、集客、当日の人的対応の支援を行う。 (2) 一般市民向け これまであまり文化財に触れる機会がなかった一般市民に、地域特有の文化に触れ、自分の住む街をもっとよく知り好きになるイベントの開催を行う。	年1回	東京都内のイベントホール、貸会議室、調理等が行える会場、学校等	6人	文化財活用イベントに興味のある人	定員15～30名程度/回	120